

り、本校においては、下図に示すような様式をとり、各学年団ともに同様式である。立案にあたっては、合併授業年間計画により実施しようとする教材(題材)について、主となる教師が2週～3週間前に立案し、援助する教師に提示し、単元指導計画細案の前提として検討する。

基 調 案

中学年団 体育科 器械運動(腕立て開脚とびこし)
ダンス～フォークダンス～ロンドンブリッチ 135分(3時間)

題材	段 階	内 容	教授と分担		形 態	用 具
			Tc	Td		
ロンドンブリッチ	1 はじめの話し合い	2×3 1 集合形態 ○ 学年毎男女2列横隊 ○ 健康の確認 ○ 学習のめあての指示			○	大
	2 体 操	10×3 1 かけ足によるからだの調整 2 手置き、足首、脚の前後開き、体の前後運動 3 ボールを使った運動棒を使った運動			○	大 中
	3 フォークダンス(ロンドンブリッチ)	15×3 1 学習内容の指示 2 リズムに合わせてのしくおどる			○	大 レコード プレイヤー

(3) 単元指導計画細案

単元指導計画細案は一般にいわれる指導案であり1単元時間ごとに、ねらい、学習内容、教授と分担、評価項目を明示し、立案者以外の教師でも、単元指導計画細案により、授業の展開が可能となることをたてまえとする。

単元指導計画細案

項目 時間	目 標	内 容	教授と分担		形 態	反 応 評 価	準 備
			Tc	Td			
第 一 時	○ 快活な感じを歌唱表現する	1 曲のは握	○ 学習用具点検 ・ OHP 操作する ・ 児童の反応をみる	1 総譜の見方 ・ 曲の感じをつかませる ・ 児童の内容をわからせる	大		OHP
	○ ハ長調の視唱力をつける	2 歌唱	2 歌唱指導 ・ 段名唱をさせる ・ 歌詞唱をさせる	○ ピアノ伴奏	大		
		3 曲の形の理解	3 曲の形の理解 ・ エコフレーズを発見させる	○ 学習内容の理解 ・ 個別指導をする	大	32人	

(4) 実施上の配慮

特に過程としての段階ごとの教授と分担を重点とし、協力教師の役割分担に主体性がもてたかどうかを吟味する。単位時間内でも役割分担を交替することがあるので、段階ごとに学習内容を確かめるため、あらかじめ評価項目が、細目標と内容系列との関係において、適切であったかどうかみみる。

8 評価の視点

(1) 学年団のわくをはずした児童集団の再編成による教授過程を確かめる。

(2) 段階的な教授過程の中で教師の役割分担とその活動のあり方を確かめる。

特に本年度は次の事項について、重点的に評価をすすめる。

① 単元指導計画について

ア 細目標は、学習目標を細分化し、具体的事実として、系統的に範囲と程度が明らかであるか。

イ 細目標の達成系列からみて内容系列が、実態に即した配列であるか。

ウ 評価項目が、細目標、内容系列と対応しているか。

エ 評価項目が、具体的な表現により設定されているか。

② 教師の役割分担については、構成教師団の主体的な活動について次の事項により評価する。

ア 単位時間において主となる教師の評価

○ 教授過程の段階において、細目標、具体的内容の提示が要領よくなされたか。

○ 一般化、転移の示唆、誘発のための発問、手だてが適切か。

○ 教授過程の各段階の評価値が適切であり、スムーズに行なわれたか。

○ 協力活動の役割分担に満足感、充足感をもつことができたか。

イ 単位時間において援助する教師の評価

○ 児童の立場にたって、理解、疑問に対する援助がじゅうぶんであったか。

○ 準備、点検、資料の提示がスムーズにでき、児童に安定感をもたせることができたか。

○ 教授過程の各段階において、個別観察、援助がじゅうぶんであったか。

○ 協力教授の役割分担に満足感、充足感をもつことができたか。

③ 児童集団の編成

教師の役割分担とのかかわりあいから集団化、個別化をはかり、本質的な授業を展開しようとするもので次のような事項について評価する。

ア 教授過程内における再編成の基準は、学習内